小学校第５学年　国語科学習指導案

習得した物語文の構成の読み取り方を活用し，心情が変化した要因をとらえる

１　単元名　人物の生き方や考え方をとらえよう（10月）

２　用いる教材　「わらぐつの中の神様」（光村図書）

３　単元のねらい

○物語文の構成（問題・解決・結果）の読み取り方を学び，人物の相互関係や心情の変化の要因をとらえ，作品に対する自分の考えを明らかにすることができる。
○現在－過去－現在という物語の構成とその効果について理解することができる。
○読み取ったことを基に，作品のよさを伝える読書郵便を書くことができる。
（言語活動）
○本を読んで推薦の文章を書く言語活動

４　指導計画（全９時間）

第一次	１時間目	単元の目的を知り，全文を読んで初発の感想を書く。
	２時間目	構成図（問題-解決-結果）の書き方を学び，過去編の構成図を書く。
	３時間目	構成図を基に，おみつさんと大工さんの人物の相互関係をとらえる。
	４時間目	おみつさんが大工さんと結婚した要因をとらえる。
	５時間目	過去編で習得した物語文の構成の読み取り方を活用して，現在編の構成図を自力で書く。マサエが変化した要因について考える。
	６時間目	２枚の構成図を基に，物語が現在－過去－現在と構成されている効果について考える。
第二次	１時間目	学習したことを基に作品に対する自分の考えをまとめる。
	２時間目	作品を推薦する文章を考え，作品のよさを伝えたい人に宛てて読書郵便を書く。
	３時間目	読書郵便をグループ内で交流し推敲する。完成した読書郵便を送る。

５　指導の構想

本単元は，第５学年及び第６学年の「読むこと」の指導事項「エ　登場人物の相互関係や心情，場面についての描写をとらえ，優れた叙述について自分の考えをまとめること。」をねらって単元化したものである。

本教材「わらぐつの中の神様」は現在－過去－現在で構成（額縁構造）され，おばあちゃんとおみつさんが同一人物など，人物相互の関係をとらえる上では複雑な構成になっている。

そこで，単元の前半では，おみつさんと大工さんが出会う過去編を取り上げ，人物の相互関係や心情の変化をとらえるために，中心人物が問題を解決するまでの過程（問題・解決・結果）を次のように構成図に表し，物語文の構成の読み取り方を習得させる。

①中心人物であるおみつさんの視点から，おみつさんが直面した問題が何かをとらえる。
②その問題をどのように解決していったのか，解決方法について考える。
③その結果がどうなったのかを明らかにする。

おみつさんの問題	解決方法	結　果
雪げたがほしいが買えない。	自分でわらぐつを作って売った。	大工さんと結婚した。雪げたを買ってもらった。

おみつさんがなぜ雪げたを手に入れることができたのか，この構成図を書く過程でおみつさんと大工さんの関係とわらぐつとを関連付けて考える思考力を育てたい。

次に現在編で習得した物語文の構成の読み取り方を活用して，現在編についてマサエの視点から構成図を書くことで，マサエの心情が変化した要因をとらえさせたい。

マサエの問題	解決方法	結　果
わらぐつに神様なんて迷信だと思っている。	おばあちゃんがおみつさんの話を聞かせた。	雪げたにも神様がいるかもしれないと思うようになった。

第二次では，読み取ったことを基に，作品のよさを伝える推薦文として読書郵便を書く学習に取り組む。また，本単元で習得した物語文の構成の読み取り方は，物語文の次単元である「大造じいさんとガン」でも，児童が自力で人物の相互関係や構成をとらえる読み取り方として活用させたい。

６　本時の指導

（１）本時のねらい（４／７時間目）

過去編で習得した物語文の構成の読み取り方を活用して，現在編の構成図を書くことでマサエの心情がおばあちゃんの話によって変化したことをとらえ，変化した要因について考えることができる。

（２）展開

教師の働き掛け	学習活動と予想される反応	評価と留意点
１　過去編の構成図を振り返り構成図の書き方を想起させる。 発問「前回作った過去編の構成図で起きた問題，解決方法，結果を思い出してみましょう。」	１　過去編でまとめた構成図を隠して提示し，問題，解決方法，結果を想起する。 ・問題は雪げたをほしくなったから ・解決はわらぐつを作り売ったこと。 ・結果は大工さんと結婚し，雪げたを買ってもらったこと。	・教師から伝えるのでなく，子どもたちに想起させる。
２　現在編の構成図を自分の力で書くことに挑戦させる。 指示「現在編の構成図を自分の力で完成させましょう。」 （思考力・判断力を育成する）	２　現在編の構成図を自力で書く。 「問題」 ・スキーぐつが乾かない。 ・わらぐつをみっだくない。 ・わらぐつの神様は迷信だと思う。 「解決方法」 ・わらぐつを履いて登校する。 ・おばあちゃんの昔話。 「結果」 ・雪げたにも神様がいると思うようになった。	・「問題」をとらえられない児童には，おばあちゃんの視点で問題をとらえることを助言する。 ◇自力で現在編の構成図を書くことができる。
３　マサエの心情の変化をとらえ，「問題」と「結果」の関連を明らかにする。 発問「マサエは前半と後半で変化しましたか，変化しませんか。」	３　マサエが変化したかどうか判断して，ワークシートに判断した理由を書く。 ・変化した。雪げたの中にも神様がいると信じるようになったから。 ↓ マサエはわらぐつの中の神様を迷信だと思っていた（問題）が，信じるようになった（結果）。	・マサエの変化をとらえることで構成図の「問題」と「結果」の内容を確認する。
４　マサエの心情を変化させた要因をとらえる。 発問「なぜ，マサエの気持ちは大きく変化したのですか。」 （思考力・表現力を育成する）	４　マサエの心情が変化した要因をとらえる。 ・おばあちゃんの話を聞いて，心を込めて作ったものには神様がいると思えたから。 ・おじいちゃんがおばあちゃんのために，せっせと働いて買った物だから神様がいると信じられたから。 ↓ おばあちゃんが話（解決方法）をしたことで，迷信だと思っていたマサエは神様がいると信じるようになった。	・ワークシートになぜマサエが変化したのか，その理由を書く。 ◇マサエが変化したことをとらえなぜ変化したのか理由を書くことができる。